大阪公立大学女性学研究センター主催 2025年度コロキウム

日本の植民地主義と女性表象

木村涼子 大阪大学教授

ファシズム期に日本の婦人雑誌が国策協力の誌面作りをしたことはよく知られています。理想的女性像としての「軍国の母・妻」を掲げ、「神の国」日本の女性の優位性を示すメッセージも発せられました。他方で、「大東亜共栄圏」を掲げる文脈で周辺のアジア諸国の女性たちも誌面にしばしば登場するようになります。アジア諸国の女性たちと日本の女性との連続性と差異がどのように設定されていたのか、植民地主義のポリティクスを女性表象という視点から考えます。

2026.03.04
WEDNESDAY
11:00-13:00

オンライン開催（Zoom 利用）

参加費　無料

申込方法　女性学研究センター WEBサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

定　　員　オンライン 50 名
（定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます。）

申込締切　2025 年 3 月 2 日（月）11 時

お問合せ先　女性学研究センター
Zoomのアドレスを3月2日（月）午後にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、3月3日（火）17時までに女性学研究センター（www.omu.ac.jp/sss/cws/）にご連絡ください。

コーディネーター：乾順子（大阪公立大学）

後援：大阪公立大学教育福祉研究センター